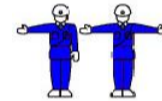


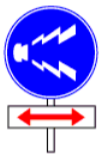
第1段階学科教習勉強用問題11



- 問題 1 この標識は、自転車横断帯を表している。
- 問題 2 歩道や路側帯を横切るときは、歩行者の通行を妨げなければ徐行して通行できる。
- 問題 3 自動車が右折しようとして道路の中央に寄っている場合には、後方の自動車は、その右折車の左側を追い越すことができる。
- 問題 4 この標識のある道路では、原動機付自転車は矢印の方向にしか進行できない。
- 問題 5 車が左折する時は、内輪差(曲がる時に後輪が前輪より内側を通ること)が生じるが、右折の時は生じない。
- 問題 6 幼児を乗せる時は、後部座席に補助装置を用いて乗せるよりも、目の届く前部座席に直接乗せるのがよい。
- 問題 7 この標識は「安全地帯」を表している。
- 問題 8 歩行者用道路では、沿道に車庫を持つ車などで、特に警察署長の許可を受けた車は、歩行者などに注意して減速して通行することができる。
- 問題 9 この標識は「立ち入り禁止部分」を表している。
- 問題 10 車に乗る前は、車の周囲の状況を確認することはもちろん、車の下ものぞいて人がいるかどうかなども確かめた方がよい。
- 問題 11 普通免許で運転できる車の種類は、普通自動車、原動機付自転車および小型特殊自動車の三種類である。
- 問題 12 この標識により進行方向が指定されている通行帯では、やむを得ない場合のほか指定された方向以外進行してはいけない。
- 問題 13 この標識がある道路では、毎時50キロメートル以下の速度で通行しなければならないが、その速度はいかなる場合でも超えて運転してはならない。
- 問題 14 横断歩道や自転車横断帯に近づいた時に、歩行者や自転車が横断している時は、一時停止しなければならないが、歩行者や自転車が横断しようとしている時は徐行すればよい。
- 問題 15 この警察官の手信号の意味は、どちらも同じである。
- 問題 16 交差点に入ろうとしている時に緊急自動車が近づいてきた時は、直ちに交差点で一時停止し、緊急自動車に進路をゆずらなければならない。
- 問題 17 進路の前方に障害物がある時は、あらかじめ一時停止か減速して、反対方向からの車に道をゆずらなければならない。
- 問題 18 この標識のあるところを通行する時であっても、左右の見通しが良ければ徐行しなくてもよい。
- 問題 19 内輪差とは、ハンドルを左に切ったときの「ハンドルのあそび」のことである。
- 問題 20 横断歩道のない交差点や交差点近くを通行中、歩行者が横断を始めたので徐行などして、先に歩行者を通行させた。
- 問題 21 横断歩道や自転車横断帯と、その手前で停止している車がある時は、そのそばを通過して前方に出る前に安全確認をして減速しながら通行しなければならない。
- 問題 22 この標識は、安全地帯であることを表している。
- 問題 23 この標識がある道路では、車は追い越しのため矢印のように進路を変えることができる。
- 問題 24 通学通園バスが止まっていて、園児などが乗り降りをしている車の側方を通過して前方に出る時に、十分な安全間隔が取れたが徐行して安全を確認しながら通行した。
- 問題 25 この標識は、「自転車専用道路」であることを表している。
- 問題 26 道路の左前方に道路工事をしている場所がある時は、対向車に自分の存在を知らせる為に、できるだけ早く進路変更をして道路の右側に出たほうがよい。
- 問題 27 この標識のある交差点で原動機付自転車は、自動車と同じ方法で右折しなければならない。
- 問題 28 雨に濡れている路面では、乾燥した路面の場合と比べて停止距離は2倍程度に伸びることがある。
- 問題 29 普通免許や準中型免許を受けて1年を経過していない者は、このマーク(初心者マーク)を車の前と後の定められた位置に付けて運転しなければならない。
- 問題 30 交差点で右折しようとする時は、あらかじめできるだけ道路の中央により、交差点の中心のすぐ内側を減速しながら通行しなければならない。
- 問題 31 この標識のある場所を通行する時は、必ず中央線からはみ出さなければならない。
- 問題 32 停止距離とは、空走距離と制動距離を合わせたものである。
- 問題 33 雨に濡れた道路を走る場合や重い荷物を積んでいる場合は、制動距離は短くなる。
- 問題 34 この標識は、自転車通行帯を表している。
- 問題 35 踏切を通過する時は、信号機があれば信号に従って通行する事ができるが、その場合には徐行して通行しなければならない。
- 問題 36 標識や標示で最高速度が指定されていない一般道路の普通乗用自動車の法定最高速度は、60キロメートル毎時であるが、普通貨物自動車の法定最高速度は50キロメートル毎時である。



- 問題 37 車両通行帯のないトンネルの中では、原動機付自転車を追い越すことができる。
- 問題 38 自転車横断帯に近づいた時は、自転車がいない事が明らかな場合の他は、その手前で停止できるように速度を落として進まなければならない。
- 問題 39 住宅街の道路で子供が遊んでいて、車が近づくのに気が付かないので、警音器を鳴らした。
- 問題 40 道幅が同じようなこのような交差点にさしかかった時は、A車はB車の通行を妨げてはならない。
- 問題 41 運転者が自動車を停止させる時は、むやみにブレーキを使わず、なるべくアクセルの操作で徐々に速度を落としてから停止するようにするのがよい。
- 問題 42 オートマチック車を運転する場合、フットブレーキを踏んでおかないと、アクセルペダルを踏まなくても車が動くことがあるが、これをクリープ現象という。
- 問題 43 この標識のある車両通行帯は、専用通行帯なので、右左折や道路工事などやむを得ない場合以外、普通自動車は通行することができない。
- 問題 44 オートマチック車でエンジンをかける時は、ハンドブレーキは引いてあるか、チェンジレバーは「P」の位置にあるかを目で確認して、ブレーキペダルをしっかりと踏んだままエンジンを始動するのがよい。
- 問題 45 勾配の急な上り坂は、標識や標示で追い越しが禁止されていない時、遅い車を追い越す事ができる。
- 問題 46 この標識のある区間内で見通しの悪い交差点、見通しの悪い曲がり角、見通しの悪い上り坂の頂上を通る時は警音器を鳴らさなければならない。
- 問題 47 運転者が注意を与えず同乗者が不用意にドアを開けて事故になった場合、運転者に責任がある。
- 問題 48 このマークを付けている高齢者が自動車を運転している場合には、危険を避ける為にやむを得ない場合の他は、この車の側方に幅寄せをしたり、無理に前方に割り込んではいならない。
- 問題 49 同一方向に車両通行帯がある道路で、黄色い実線で区画されている場合、追い越し以外にははみ出して通行してはならない。
- 問題 50 エンジン始動直後やエアコン作動時にオートマチック車を発進させる時は、アクセルペダルを強く踏み込むのがよい。



第1段階学科教習勉強用問題11 解答

↓ ^{りしゅうばんごう}履修番号を教習項目に置き換えて、^{きょうほん しらべんきょう}教本で調べて勉強してください。

もんだい 問題 1	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 26	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9
もんだい 問題 2	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 4	もんだい 問題 27	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3・6
もんだい 問題 3	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9	もんだい 問題 28	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 4	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 29	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7
もんだい 問題 5	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6	もんだい 問題 30	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6
もんだい 問題 6	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 1	もんだい 問題 31	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 4
もんだい 問題 7	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3・4	もんだい 問題 32	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 8	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 4	もんだい 問題 33	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 9	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3・4	もんだい 問題 34	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3
もんだい 問題 10	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8	もんだい 問題 35	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6
もんだい 問題 11	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 10	もんだい 問題 36	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 12	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3・6	もんだい 問題 37	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9
もんだい 問題 13	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5	もんだい 問題 38	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7
もんだい 問題 14	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7	もんだい 問題 39	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8
もんだい 問題 15	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 2	もんだい 問題 40	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6
もんだい 問題 16	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5	もんだい 問題 41	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 17	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9	もんだい 問題 42	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 18	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3・5	もんだい 問題 43	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 19	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6	もんだい 問題 44	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 20	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7	もんだい 問題 45	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9
もんだい 問題 21	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7	もんだい 問題 46	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8
もんだい 問題 22	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 47	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 1
もんだい 問題 23	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8	もんだい 問題 48	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7
もんだい 問題 24	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7	もんだい 問題 49	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8
もんだい 問題 25	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 50	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5

☆見直しのポイント

不正解だった問題やわからなかった問題は、なぜ「○」なのか、なぜ「×」なのかを学科教本を使って理解できるまで勉強しましょう。→問題で覚えると、問題文が変わるとわからなくなります。